

学校教育自己診断（生徒・保護者）の結果分析

（学校生活全般）

- ・生徒の「学校へ行くのが楽しい」という回答は大幅に増加し、80.9%に達した。特に1年生は85.0%と非常に高い値を示している。文化祭や体育祭などの行事の充実・活性化（肯定的評価はそれぞれ76.7%、75.7%、いずれも10%近く上昇）、地域連携を取り入れた体験的な取組み（肯定的評価88.7%）などが要因の一つであると考えられる。しかし裏を返せば、約20%の生徒が「楽しくない」と回答しており、この点を真摯に受け止め、今後の教育活動をさらに充実させる必要がある。
- ・保護者の「子どもは、岬高校へ行くのを楽しみにしている。」は71.7%と上がった。生徒の上昇率と相関関係があり、家でも学校のことが共通の話題になっていると思われる。
- ・生徒の「ステップスクール（1年生）、エンパワメントスクール（2，3年生）に来てよかった。」は86.5%と上がった。これは、オープンスクールや学校説明会などで岬高校の取組みを理解した上で、入学してくれる生徒が多くなってきていること、また、実際に入学してから充実した学校生活を送っていることが要因だと考える。

（学習指導）

- ・生徒の「1年生モジュール授業（国数英の毎日30分授業）に関する項目」の肯定的評価は88.5%となり、高水準を維持している。
- ・生徒の「2，3年生の系列・コースの科目（授業）に関する項目」の肯定的評価は88.6%と上昇した。地域と連携した新たな取組みも要因の一つと考える。
- ・生徒の「コンピュータや電子黒板などの視聴覚機器が授業でよく使われている。」の肯定的評価は80.4%と上昇し、「1人1台端末を積極的に活用している。」の肯定的評価は85.3%と30%近く上昇した。生徒にとって「分かる授業」をめざして各教員が積極的にこれらの機器を活用した結果だと考える。

（進路指導）

- ・生徒の「岬高校では、進路についての学習をしっかりと行ってくれる」という回答は大幅に増加し、89.9%に達した。これは、3年間を通じた進路指導（1年次「知る」、2年次「探る」、3年次「叶える」）のもとで、校内外で様々な進路に関する取組みを行った結果だと考えられる。
- ・保護者の「岬高校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。」の肯定的評価75.8%、「岬高校は、進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。」の肯定的評価71.9%といずれも昨年度よりやや上昇したものの、一昨年度の水準には達していない。引き続き保護者対象の進路行事や進路に関する情報を発信していきたい。

（生徒指導）

- ・生徒の「岬高校にはいろいろきまりがあって厳しいけれど、自分のためになっていると思

う。」の肯定的評価は 78.2%と上昇した。また、「遅刻指導があるので、自分自身の遅刻が減っていると思う。」も 74.1%と大幅に上昇した。令和 6 年度からは頭髮の多様性を認めているが、「寄り添い」「粘り強い」生徒指導が、教員と生徒との間に良好な関係を築いているものと思われる。

- ・保護者の「岬高校の先生は、子どものまちがった行動を厳しく指導してくれる。」は 70.4%と 7%近く減少した。これは頭髮の多様性を認めたこと、また、「厳しく」というよりは「寄り添い」「粘り強い」生徒指導を行っていることが要因だと考える。今後も保護者と教員が協力・連携し、時代にあった生徒指導を行っていく。
- ・生徒の「岬高校の先生は、自分が努力したことを認めてくれたり、ほめてくれたりする。」の肯定的評価は 88.1%と大幅に上昇した。何事にも前向きに頑張る生徒が増えたこと、そして、担任は勿論のこと、その他多くの教員で生徒たちを見ていることが要因だと考える。

（支援体制）

- ・生徒の「岬高校ではいじめやそれに近いことが起こったときにきちんと対応してくれる。」の肯定的評価は 75.4%と上昇した。引き続き、いじめ事案の未然防止、また、事案が起こった際の迅速な対応ができる組織作りに尽力していきたい。
- ・生徒の「担任の先生以外にも、保健室や相談室等で、気軽に相談できる先生がいる。」は 72.8%と 10%上昇した。これは、各教職員が積極的に生徒に関わっていること、また、スクールカウンセラーの常駐、スクールソーシャルワーカーやキャリア教育コーディネーターの来校回数が府下最多になり、外部専門人材の方々と教員が連携して生徒対応に当たっていることが要因だと考える。

（部活動）

- ・生徒の「部活動に入っていますか？」において「1年からずっと」「途中から今まで」を合わせ 34.9%とほぼ例年通りの水準である。部活動を活性化するための取組みを考えていく必要がある。

（施設・設備面）

- ・生徒の「学校図書館を利用していますか？」において「利用していない」が 71.8%非常に高い。現在の生徒が求めている書籍、図書館の開放時間、図書館内の設備面などを見直し、利用率が上がるような工夫をしたい。

（PTA 活動）

- ・保護者の「PTA 活動に参加したことがある。」の肯定的評価は 15.6%とコロナ以降は低い値になっている。文化祭や体育祭、PTA 主催のスポーツ大会に加え、次年度からは本格的に社会見学会を復活させる予定ですので、これらの取組みに参加していただけるよう、情報発信を行っていきたいと考えています。